



No.25

平成24年 4月24日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



Contents

● こんなことが決まりました.....	2
● 町政ここが聞きたい！（3月定例会）.....	5
● 研修視察報告.....	9
● あれからどうなったの？.....	11
● 輝く人.....	12

本郷

こんなことが決まりました

3月定例会(1日~22日)では、3月補正予算9議案、平成24年度当初予算9議案のほか条例の改正や陳情6件など、合計39議案を審議しました。

今年度の総事業予算を決定するため、熱心な議論が行われました。多項目にわたる各課別主要事業をなるべく多くご紹介し、結果だけでなく議会での審議・議論内容にスポットをあて、掲載しました。

福島事故後の大飯原発に関する決議

●おおい町議会では、原子力発電所の安全性に妥協のない対策の確立と、長期稼働停止による地域経済や雇用、自治体財政に対する影響を回避する政策を国に求めていくため、「福島事故後の大飯原発に関する決議」を全会一致で可決しました。

一、原子力発電所の安全確保策の遂行

- (1) 国による原子力発電所二元管 理責任の遂行
- (2) 福島原発事故の知見を反映し た安全基準の提示と対策
- (3) 原子力防災対策の強化
- (4) 原発災害制圧道路及び避難道 路の多重化
- (5) 若狭地方に影響を及ぼすと考 えられる地震や津波に関する 科学的検証の推進

二、稼働停止による地域経済停滞の救済措置

- (1) 原発稼働の有無に影響されな い財政支援措置
- (2) 稼働停止による地域経済停滞 の救済措置

平成24年度予算・各課の主な事業と審議

総務課

- ・ 防災行政無線全町域デジタル整備
- ・ 大飯中学校通学路防犯灯設置工事
- ・ バス運行体制変更(コミバス廃 止、路線バス利便性向上)

管理課

- ・ いきいき館、歯科医療用機械器具 購入(X線装置現像関連機器、デ ジタルX線装置、超音波器具洗浄 機、歯科材料加湿器)
- ・ 宅地分譲用地取得(旧名田庄ウツ ディーセンター跡地)
- ・ 名田庄ゲートポール場改修工事

企画課

- ・ スーパー大火勢開催事業
- ・ 低炭素化街づくり推進(公共施設 LED化、

- 電気自動車 購入補助・ 充電設備工 事補助金)



急速充電設備

税務課

- ・ 地方税電子化、エルタックス電子 申告システム導入

住民福祉課

- ・ 若者出会い交流応援事業(年2回)
- ・ 敬老会事業(長寿祝、親睦会)
- ・ こども家族館管理運営事業

なごみ保健課

- ・ 介護保険条例一部改正(基準月額 4600円(千円アップ))
- ・ 健康増進、がん検診受診率向上策

地籍整備課

- ・ 高齢者、食の提供移動販売業者委託
- ・ 高齢者、買い物代行、社協委託
- ・ 高齢者、タクシー初乗り料金助成
- ・ 地籍調査(震災による座標移動の為)
- ・ 中山間地域総合整備

農林水産振興課

- ・ 鳥獣被害防止緊急対策、町内全域 山際恒久柵設置
- ・ 猿害対策、侵入防止ネット補助
- ・ 園芸農業、ビニールハウス補助
- ・ 新規就農総合支援
- ・ 間伐、除伐、テープ巻き獣害防止策
- ・ 間伐材利用搬出促進事業
- ・ 水田利活用自給力向上、転作助成
- ・ きのことセンター管理運営改修
- ・ 漁礁設置、魚の生息環境造成

こんなことが決まりました

新年度予算 137 億円を可決

一般会計	108 億 6800 万円	6.5%の増
特別会計	28 億 3254 万 2 千円	7.4%の減
合計	137 億 54 万 2 千円	3.3%の増

平成 24 年 度 主 要 事 業

- ・鳥獣被害防止山際恒久金網柵の設置
…5 億 3637 万 4 千円
- ・うみんぴあ大飯に賑わい創出施設を整備
…6 億 2432 万 1 千円
- ・みどりの広場 (人工芝グラウンド) の整備
…5 億 5415 万 8 千円 (総事業費 10 億 2200 万円)
- ・宮留公有水面の埋立
…1 億 2530 万円 (総事業費 6 億 650 万円予定)



商工観光課

・うみんぴあ大飯賑わい創出施設整備

議論のゆくえ

予算決算常任委員会において、古石實議員から「賑わい創出施設の収支計画が甘く、巨費の施設が必要か、町民の理解を得るまで予算化を見合わせるべき」として、同事業費を削除する修正案が出された。修正案の採決は、反対7賛成5で否決された。この後原案に対する採決がなされ、可否同数、委員長採決により可決された。

この件においての委員長報告は、「決定機関としての議会において、結論だけでなく議論の本質を高めることが、開かれた町政運営の向上に寄与し、議会活性化の一歩である」と、報告された。

・みどりの広場整備事業

・観光振興 (宣伝・イベント・バス

誘客奨励金・学生合宿誘致)

・事業所省エネ化推進に補助金

建設課

・道路管理・改良・ガードレール補修

・宮留地先公有水面埋立護岸工事

・大島南浦区住宅用地造成・分譲

生活環境課

・水源開発調査

・給水車購入

・大飯清掃センター施設機器改修工事

・犬見地区飲料水供給施設改良工事

電子情報課

・ケーブルネットワーク施設運営

・名田庄地区、F・T・H整備、光ケ-

ブル地下配管路埋設工事

学校教育課

・本郷小学校・大飯中学校耐震補強

工事

・名田庄中学校改修、洋式トイレ設置

・緊急時メール連絡システム導入

生涯学習課

・生涯学習推進、各公民館開催

・曆会館20周年イベント

・町民センター・ふるさと交流セン

ター改修工事

平成23年度3月補正予算

■一般会計補正予算

113 億 3530 万 2 千円に減額

■特別会計補正予算

30 億 9586 万 8 千円に減額

こんなことが決まりました

■ 予算決算常任委員会での
審議・質疑内容の一部を
ご紹介します

問 佐分利川水位監視カメラの画像はインターネットで閲覧可能か。

答 情報提供したいと考えていますが、技術的問題を検討調整中です。

問 行政区に加入していない住民への災害時の緊急連絡など今後の課題は。

答 現在見直し中の地域防災計画で、豪雨災害の経験も活かし検討します。

問 高齢者への食の提供を目的とした移動販売業者委託の内容は。

答 週1回以上で町内に1日4時間以上滞在することを条件に委託料を支払います。

問 県施設である、こども家族館の管理運営に県支援が拡大されるよう努力すべきと考えますが。

答 現在人的支援やイベント開催支援を受けていますがさらに支援が拡大されるよう働きかけていきます。

問 獣害防止策の落札率に相当の開きが生じているのはなぜですか。

答 他の公共事業が少ないことから

競争が激化したと認識しています。が、適正な競争入札の結果です。

問 除雪時の、幹線と支線の優先順位、残雪による通行支障などの課題解決策は。

答 業者と重機の不足に加え、豪雪で課題が明確になりました。今後、除雪対策会議で検討し改善に役立てます。

問 そともめぐり観光への多額の出資に見合う目的はありますか。

答 観光事業の広域連携化で、うみんぴあと、そとも遊覧を含めた発着点の異なる観光事業を展開します。

問 サッカー場の整備に9億8千万もの巨費を投入するには住民の理解が必要。J1は呼べず、町民用には豪華。経費圧縮するか、目的を特化し効果を見込んで。

答 プロの試合興行とするには、観客収容設備が不足し不可能です。地域のスポーツ振興施設として、夜間の施設開放を含めて検討します。

問 賑わい創出施設の採算性を確保する入込数は確保できますか。

答 リピーターの確保や販売力の向

上により達成できる予測です。

問 賑わい創出施設の成功の鍵は出展者の確保ですが可能ですか。

答 出展者の目安を200人とし、準備期間に提供者を募る努力をします。

問 住民や議会の意見が取り入れられるべきですが修正する必要があるのでは。

答 参考にはしますが、原則的には最終決定した設計となつています。



賑わい創出施設フードコート

■ 陳情

■ 「障害者総合福祉法の制定等に関する国への意見書提出を求める陳情」

「参考人招致」 (全会一致・採択)

■ 「公的年金の改悪に反対する意見書を求める陳情」

「参考人招致」 (全会一致・採択)

■ 「TPP交渉への参加反対に関する要請」 (全会一致・採択)

■ 「大飯原子力発電所3号機および4号機の再稼働に議会として同意しないことを求める要請」 (反対多数不採択)

■ 議論のゆくえ

原子力発電対策特別委員会において、本文中の「福島第1原発事故の知見を反映した安全対策が必要」という「趣旨は理解する。部分的であれ、議会の対応とかわらない」と「趣旨採択」した。

本会議において、「提出団体(平和と民主主義をめざす全国交歓会)は、脱原発を掲げた活動をしており議会のスタンスと違つ」「表題により、再稼働はしないとの誤解を招く」などの意見によって、不採択とした。

委員長報告で、「もっと多角的な議論が必要だった」と報告された。

■ 「原子力発電所の警備に関する意見書について」 (継続審査)

■ 「大飯原発の再稼働に反対する要請」 (反対多数不採択)

町政二こが聞きたい!

3月定例会では、9人の議員が一般質問をしました。

東日本大震災への援助は

町長 広域的な枠組みの中で可能な支援を考えていきます



松宮 史知

問 おおい町として、東日本大震災の被災自治体にとどのような援助をしていきますか。

答 (町長) 人的支援として昨年4月に保健師を派遣しました。現在は、自治体間の全国的な支援組織が機能しています。この中でわが町は一般職2名の派遣を予定していましたが、被災自治体の復旧工事に係る専門職員を欲するニーズに合致しないため派遣を見合わせています。

また、震災瓦礫の受入れは、町単独ではなく広域的な枠組みの中で実施していきたいと考えています。

再稼働について国から町民への説明は必要なのか

町長 町民への説明は、判断の大きな必要条件



今川 直樹

問 国のエネルギー政策転換を受けて町の第一次総合計画の見直しをすべきでは。

答 (町長) 原発に依存するのでなく原発との共存を活かした産業の誘致、育成が基本政策であり、見直しの必要はないと考えています。

問 国が原発再稼働の町民説明会を実施する際には混乱が懸念されますが。

答 (町長) これまでも3・4号基増設前の公開ヒアリングなどの説明会の経験があります。

問 国のエネルギー政策転換の対応や若者の地元離れを食い止めるべき雇用対策は、優先的に取り組むべき政策ですが、まずはじめに企業誘致体制の強化をすべきでは。

答 (副町長) 限られた職員数の中での対応は困難です。

問 賑わい創出施設整備事業で、季節を問わず一日平均来客数450人分の農水産物などを町民からの出荷で計画されていますが、実現可能ですか。

答 (副町長) 直売所出荷登録者は93人となっており、更に増える見込みです。

問 西谷地区に完成した農産加工施設の新規従業員は、地元地区民から雇用すべきでは。

答 (副町長) 受託先の名田庄商会の計画では地元雇用と聞かれています。

問 「ぶらっと」は利用制限が多すぎて使いづらいついていない感じがしますが、使っていたらどうという感覚が必要。また、照明・音響操作を官民協働で実施すべきでは。

答 (教育長) 住民も含めた照明等操作技術研修会の開催を予算計上しました。

町政二こが聞きたい!

「公共交通バス改善・拡充方針」の具体策は
町長 10月から「ここにバス」を廃止し、路線バスに統一します



尾谷 和枝

問

接続最悪、料金設定比3倍など、利用者への配慮に欠け、通勤通学に支障をきたす現状の改善点は

答

(町長) JRとの接続改善のため、ダイヤ改正と増便を行い、診療所通所へのルート変更や運賃も流星バス並みに引き下げます。

問

ここにバス廃止による交通弱者対応策として、*オンデマンド型車両導入を望む声もありますが

答

(総務課長) 町全体の公共交通として考え、必要性の検証、路線バスとの競合を考慮の上、検討します。

■予防接種費用助成を町独自で

なごみ保健課長 効果ある

事業で継続します

問

子宮頸がん、インフルエンザB型、肺炎球菌などの予防接種費用助成は、町独自の事業として考えては

答

(なごみ保健課長) 法律に基づかない任意の予防接種ですが、効果ある事業として継続します。

問

ポリオ生ワクチンより安全性が高い不活化ワクチンの導入は

答

(なごみ保健課長) 現在、国が薬事申請中で、24年秋認可の動向を注視し、導入に取り組みます。

■保育所と小学校の運動会を合同で開催しては

副町長 関係者の意見を聞き、検討する必要があります

問

町民体育祭を小学校校区単位で開催し、地域と世代間交流の場とすれば、子供と無理なく交流でき、地域防災へも役立つのでは

答

(副町長) 各保育所や校長会、PTAなどのご意見をお聞きし検討する必要があります。

平成27年度末で人口1万人の目標を達成する見込みは
町長 目標達成は困難です



浜上 雄一

問

若者の定住促進のための企業誘致が必要では

答

(副町長) うみんぴあ大飯にこれまで2企業を誘致し、その雇用者は79人となっています。引き続き取り組みます。

問

若者の流出防止に雇用数が多い製造業の誘致を進めるべきでは

答

(町長) うみんぴあ大飯との整合性を勘案しながら取り組みます。

問

企業誘致が進まない原因は、水問題にあると考えますが、大津呂ダム completion 完成で工業用水の供給も可能になるのでは

答

(副町長) ダムは6月から供給開始され、うみんぴあ大飯

の企業にも一定量の供給が可能です。

問

企業が求める用地の確保は、町内の耕作放棄地や遊休地を集積することで達成が可能です

答

(町長) 産業団地造成には、安くて広い土地の提供と働きの確保などの条件整備が必要です。困難な問題が山積しており、政策転換には慎重にならざるをえません。

問

原子力災害規制圧道路整備計画は、犬見崎和田線に接続される予定のようですが

答

(副町長) 国道27号に直結するよう新たな橋梁の建設は、現在のところ困難です。

問

それでは、人の流れが隣町へ向かってしまいます。町が寂れるのが目に見えますがその対策は

答

(副町長) 町では、以前から大島地区と本郷地区を直結する道路の整備を要望してきており、引き続き強く要望していきます。

町政ここが聞きたい!

■国は原子力発電の安全推進に積極的に関与すべきでは
町長 安全対策に終わりはない姿勢を示す必要があります



中塚 寛

問

安全確保を電力事業者に委ねることは、国の一元管理責任の速やかな遂行を危ういものにすると考えます。

国は、規制のみに終始することなく、安全確保の推進にも積極的に関与していく必要があると考えますが、所見を伺います。

答

(町長) 町民の安全・安心のために重要なことであると考えています。

今後、発足される原子力規制庁において、原子力に係るすべての者が安全対策に終わりはないという姿勢を広く町民に示していくことが必要だと思えます。

引き続き、安全文化の徹底を国や事業者に強く要請していきます。

■国に求める原子力立地に対する財政支援策等の内容は
副町長 財政支援や正確な情報の開示などを求めています

問

町長は新年度施政方針の中で、「立地市町に対する財政支援と地域の振興発展に寄与する政策を求めていくことが重要」と述べられましたが、具体的な内容を示してください。

答

(副町長) 本町は、地域振興策として、国策であるエネルギー政策の根幹をなす原子力政策に全面的に協力し、原子力発電所を誘致して以来、原子力と共に歩んできました。

今後引き続き、町の安定した行財政の運営の堅持と、持続可能な地域発展のために、経済や雇用面に対する財政支援、さらには、風評被害の拡大防止につながる正確な情報の公表や広報などを求めています。

■町独自で原子力防災訓練を実施しては
町長 関係機関と連携して実施することが重要だと考えます



松井 榮治

問

県の原子力防災関係の情報が入ってきませんが、町はどう考えていますか。

答

(町長) 避難計画において国の調整機能が働いていない現在においては、県が独自にできる限りの計画を進めることに意義があると考えています。

問

おおい町として独自の避難訓練はしないのですか。

答

(副町長) 原子力事故を想定した避難訓練は、国・県・市町の防災関係各機関が連携して実施することが重要だと考えています。

今後も、従来どおり県原子力防災訓練の場を通して参加していきます。

■東日本大震災の瓦礫を受け入れる計画は
町長 広域的な枠組みで取り組んでいきます

問

不燃物や可燃物の処分地名田庄地区と大飯地区の現状はどうなっていますか。

答

(生活環境課長) 名田庄地区の可燃物は小浜市クリンセンターに、不燃物は小浜市リサイクルプラザで受け入れてもらっています。

大飯地区の可燃物は大飯清掃センター、不燃物はえこあいらんどで受け入れています。また大飯清掃センターは日糧2tほどの余裕があります。

問

東北地方の瓦礫処理問題に対する本町の考えは。

答

(副町長) 震災廃棄物の受入れは、個々の自治体の小規模な対応ではなく広域的な枠組み(嶺南広域行政組合)で考えていきます。

■ストレステストの一次評価について町長の所見は 町長 一つの階段を上がられたものと認識をしています



中本 茂

問 ストレステスト（耐性検査）の一次評価を原子力保安院が「妥当」と判断されましたが、町長の所見は。

答（町長） 国が行う原子力発電所の安全確認という一連の作業の中で、一つの階段を上られたものと認識しています。

問 知事は、国から福島事故の知見をもとに暫定的な安全基準が示された時には、県の原子力安全検証委員会で検討すると述べられていますが、町長の考えは。

答（町長） 国から連絡がない现阶段では答えることはできません。

問 県道赤礁崎公園線を多重化する新たな道路路計画の内容は。

■第三セクター名田庄商会の経営に町はどう関与するのか 町長 会社の体質を徐々に変えていきます



森内 正美

答（副町長） 原子力災害制圧道路整備計画が発表され、犬見から南浦区間に既設道路との多重化を図る目的で新たに3.3km、幅員7mの道路が計画されています。

問 犬見から本郷に直結する道路が必要ですが、その計画は。

答（副町長） 理解はできますが、橋の耐用年数などの点から現状では難しいと考えています。今後、県と対応を協議します。

■ここにごバス本郷大島の廃止は本当ですか 町長 発展的解消で協議を進めています

問 利用者が多かった大島本郷線の廃止は理解できませんが、その理由は。

答（総務課長） 「ここにごバス」と「路線バス」の抱える問題を勘案して判断をしました。

副町長 料金や運行時刻など利用性が高くなるように改善をします。

■第三セクター名田庄商会の経営に町はどう関与するのか 町長 会社の体質を徐々に変えていきます

後は、収益を上げるための戦略を立てなければならぬと思うが。

答（町長） 長年の経営体質、経理方法、組織体制を改善するなど、発想の転換をする時期が来ていると思っています。徐々に取り組みます。

副町長 農産加工施設の新工場が4月から操業開始となりました。原材料の生産者拡大につなげ、販売量が増え、経営向上につながるよう努力します。

問 本年度の収支見通しは。また、来年度の経営方針・事業に対して町はどう関与していくのか。

答（町長） 本年度も収益が伸びず、決算は昨年を少し下回る見込みです。経営方針や事業計画は、役員会や総会での報告を注視し、対策をとっています。

問 第三セクターの運営について、基本的な考えは。

答（町長） 行政の持つ信用力、公共性、民間企業の効率性、機動性を最大限に生かした業務を進めることだと思っています。

問 地方財政は年々逼迫し、補助金、委託金の見直しが進み、第三セクターにおいても行財政改革を進めなければなりません。今



名田庄あきない館

大飯発電所周辺の断層が運動する可能性があるのでは
町長 仮に運動した場合でも安全性は確保されると試算されています



猿橋 巧

問

地震動に対する耐震安全性評価で、大飯3・4号機の海域と陸域の断層が運動するという所見をどう認識しているか。

答

(町長) 事業者から提出されている報告書では、熊川断層の3つの断層が運動することはな... 場合を試算されたところ、47万年に一度の確率で約760ガルであったとされましたが、ストレステスト結果から、耐震安全性は確保されているとされています。

問

関電の発表した鉄塔の基礎評価の結果は、地震で崩壊する恐れのあるランクであることを示しましたが、これは安全協定上と安全上大問題では。

答

(企画課長) この報告を受け、町では安全上緊急性を要する問題であると認識しましたので、早急な対応を要請しました。

問

防災対策の範囲が変更されませんが、昨年の県の訓練では5kmの住民のみが対象とされましたが、少なくとも全町民と高浜原発に対する訓練を行うべきと考えます。

答

(副町長) 今後、国において原子力災害における避難対策などの具体的な指針が示され、地域特定を勘案した非難範囲の設定を行うていくこととなります。

来年度に実施予定の高浜原子力発電所を対象とした訓練、また、平成26年度に大飯発電所を対象とした訓練では、新たな防災体制で実施することになると思います。

※この他にも、行政機構の是正などの質問も行いました。

議員全員研修視察報告

【研修日時】平成24年2月16日
【研修場所】堺太陽光発電所 兵庫耐震工学研究所
【参加者】議員12人

メガソーラー発電の可能性は

議会では、再生可能エネルギーと耐震技術への研鑽を深めるため、関西電力株式会社堺太陽光発電所と、兵庫耐震工学センターの研修視察を実施しました。

実物大で地震被害を検証

兵庫耐震工学研究所センターは、3次元の加振設備を有しています。同設備は加振台が15m×20mと大きなものであるため、実物大のモデルで実験できる長所があります。

堺太陽光発電所は、出力1万kW、敷地面積は約21haでうみんぴあ大飯とほぼ同じ大きさです。年間発電電力量は、約1100kWhで年間の炭酸ガス削減量は約4000tです。

このため、モデル化に伴う相似則等の検討をする必要がないため、より真実に近い実験が可能です。また、加振機に入力する波形は現在収集されている世界各地の有名波形を網羅しているため、地震の要因による入力波形の選択が可能であるとのことでした。

太陽光パネルは、その出力を日照に左右されます。このため、急な需要に十分に備え電気の品質を保持するためには、負荷変動に強いガスタービン発電機や蓄電池を用意する必要があります。つまり、このシステム自体で給電体制が成り立つわけではなく、他の電源とほど良いバランスで電源構成を作っていく必要性を学習しました。



加振台

析学のさらなる深化に期待を寄せたいと思います。

産業建設常任委員会研修視察報告

【研修日時】平成24年2月7日・8日 【参加者】委員6人
 【研修場所】岡山県真庭市道の駅「みつ」

森林資源の有効活用を進める町

真庭市は、市の総面積の79%が山林であり、古くから西日本有数の木材集積地として栄え、市は豊富な森林資源の利用で山林を再生し、森林事業で、地域産業の活性化を推進しています。

「バイオマスタウン」の先進地として全国の注目を集めて、「次世代エネルギーパーク」の指定を受け、地道に森林産業を核として、時代に沿った町づくりの発展が期待できます。

森林が大半を占める本町も、再生エネルギーの思考をする時代到来と感じました。



木製ペレットを利用したストーブ

賑わう「道の駅」の秘密は

たつの市の「道の駅みつ」は、瀬戸内海国立公園内に位置し、周辺には岩見漁港、新米舞子浜・世界の梅公園などがあります。

瀬戸内海を一望できる風光明媚な口ケーションと、開放感満点で快適な休息の場を提供することにも、様々な情報を発信しています。

施設には海が見える展望レストランや新鮮な農水産物、加工品、特産品を提供する直売所のほか、地域の活性化として海をテーマに総合的な体験事業ができる体験学習室も備えています。

今は周辺環境と条件的には恵まれています。今後の事業展開の問題点を確実に整理して、新たな取り組みに注力中です。

本町の「賑わい創出施設」の管理運営などに参考にする必要があります。

企業誘致等特別委員会研修視察報告

【研修日時】平成24年1月17日 【参加者】委員7人
 【研修場所】福井県産業労働部企業誘致課

先進的な改革を進める議会

県下の企業誘致の状況や嶺南地域への支援体制を確認し、取り組みの促進を図るため、県企業誘致課との情報交換を行いました。

県は、平成22年5月に副知事を本部長とする推進戦略本部を設置し、その下に東西の営業本部を置き、誘致活動に当たっています。

円高やエネルギー需要状況の変化などを理由に、生産拠点を海外に求める企業に対し、積極的に誘致活動を行っています。

東日本では、震災後のリスク分散を検討する企業や、環境エネルギー関連やIT大手をターゲットに、西日本では、科学・素材系企業や再生可能エネルギー関連産業への取り組みを強化しています。

嶺南地域のセールスポイントは、京阪神と中京からの距離が近いことや安い生活費、教育・医療の充実に加え、敦賀港の機能強化、舞鶴若狭自動車道の全線開通を控

え、物流の利便性の向上が期待できます。

また、災害や犯罪などの安全面においても、信頼度が高いとされていますが、まとまった産業用地が不足しており、県の補助制度を有効活用した用地造成を促進するよう要望を受けました。



追跡

1年前の一般質問

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成23年3月定例会からピックアップしました。



住居と雇用の場の確保策は

大島南浦の住宅用地造成事業をどう進めていきますか。

(新谷 欣也議員)

副町長答弁

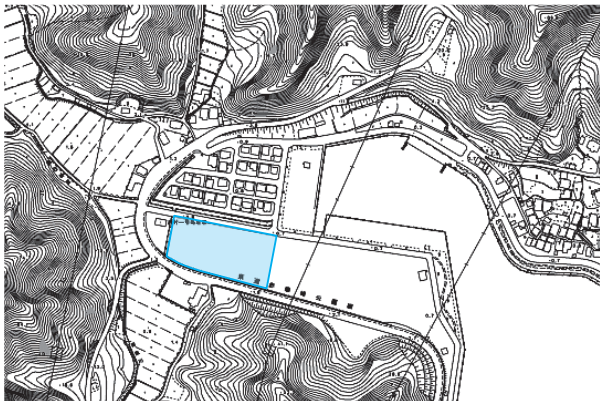
基本計画を策定

交流人口から定住人口へ転換するための基礎整備をおこなうため、平成23年度予算に基本計画策定などの所要経費を計上しています。

どうなった？

南浦地区で事業を展開

総合計画の「定住人口活性の環」プロジェクトに基づき、居住の場の充実を図ります。10,100㎡、20区画、集会所などが予定されています。



住宅用地の整備予定地



名田庄バイオテック



名田庄バイオテック解散原因は

第三セクターの運営の責任は自治体の長にあるが、その運営の甘さの経過と責任は。

(猿橋 巧議員)

町長答弁

立て直しは困難と判断

経営悪化が続き、大きな負債で解散することになり、町民の皆様にお詫び申し上げます。

どうなった？

すべての清算が完了

昨年末、消滅登記や所有株券放棄などを行い、平成24年1月27日にすべての清算業務が終了したとの報告を受けました。

あれからどうなったの？

描く楽しみ

本郷 渡邊孝男さん・幸子さん

本郷の渡邊孝男さん、幸子さんご夫妻をお訪ねしました。お二人は共に絵を描いておられます。ご主人の孝男さんは主に水彩画で『おおいのお店』と『おおいの橋』をテーマに変わりゆく風景をコツコツと描いておられます。これまでに描き上げた作品を拝見させて頂くと、子供の頃遊んだ山野の風景や、マンガや駄菓子を買に行った町並を思い起こすような懐かしさがありました。休日にはスケッチブックを片手に町内のいたるところに出かけるそうです。

奥様の幸子さんは絵手紙を描いておられます。身近な植物などを題材とする作品が多くこれまでに500作品以上になるそうです。

お二人のお話を伺っていると、まさに『継続は力なり』という言葉が肌で感じました。

孝男さんは「歳のせいこの頃は、毎日出会うすべての人に教えられている」と感じるそうです。そんな思いが小さな風景画の中にも込められているのでしょうか、作品に優しさや愛情が溢れているように感じました。

お二人の作品は時々催す二人展で公開する事もあるそうです。(森口記)



輝く

かがや

バスケットボールチーム・エンジェルスター

Angel Star 代表 中岡 孝維 さん

バスケットボール好きな子供たち数人と同好会を発足して9年。去年からクラブチームとして週3回元気に活動しています。おおい町と高浜町4校の元気な女の子25人と、若くないが負けじと元気な指導員4人が同じコートに立って楽しく練習をしています。

普段は違う小学校に通う子供たちですが、練習以外でも集まって遊ぶくらい仲良く、練習も笑い声の絶えない楽しいチームです。普段の練習や試合以外でも、奉仕活動や大縄跳び、親子バスケ、親子運動会などチーム全員で内容を考えて行う行事もあります。

また、健康マラソンやはまなすマラソン、青戸ロードレースに参加し、普段の練習で鍛え上げた健脚でよい成績を納めています。

バスケはコートに5人ずつ入って行う競技で5人いればいいように思いますが、小学生のミニバスは「1試合で10人以上出場しなければいけない」という独特なルールがあり、たくさんの選手が試合に出られる素晴らしいルールだと思います。

最後に、毎年5月～6月に郡の球技大会に向けてバスケットボール教室も開催しています。Angel Starの楽しい仲間も待っています。少しでも興味があれば見学だけでもいいのでお待ちしております。

議会の傍聴に来てみませんか

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は6月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111 内線312)までお問い合わせください。

6月定例会の予定

会期：6月12日から26日まで(15日間)
本会議：12日(議案提案理由説明)、21日(一般質問)、26日(採決)
委員会：総務・産業建設常任委員会(13日)、予算決算常任委員会(12日)

【編集後記】

平成24年度当初予算を審議する3月定例議会を終え、議会だよりを発行する運びとなりました。

今回はお知らせしたい事項が数多くあり、掲載スペースが限られている中で編集に苦勞をしました。

特に昨年実施しました議会報告会につきましては、おおい町議会HPにおいて詳細を報告していますので、そちらの方をご覧下さいます様お願い申し上げます。

多くのご意見を頂戴しました事、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

原発の再稼働の動きに合わせ、住民の皆さまにも関心の高い状況ですが、町の将来を誤ることのない様、議会一同連日奮闘しています。

さて、今冬は大雪に見舞われ、雪かき作業に明け暮れた日々でしたが、彼岸を過ぎてようやく桜が満開となりました。

東北の皆様をはじめ、一日も早く春が訪れる事を祈ります。

(森口記)